Special Lectures on Judo Therapy 3

Syllabus Number 7C311
Special Core Courses
Requisites 1 credit
OTSUKA, Hiroshi

No localized syllabus found / Showing original

1. Course Description

主にリハビリテーション医学の要点を復習します。理解度を測るために確認テストを実施します。また、必要に応じて基礎医学（解剖学・生理学）の重要事項と関連づけて授業を展開します。
また、授業時の質問に対してグループディスカッションして答えてもらいます。
この授業は、DP1に関連します。
本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は医療機関（整形外科・リハビリテーション科）で従事しており、授業では、臨床例、課題などを題材とした講義、実習を行います。

2. Course Objectives

柔道整復師国家試験科目のうち、主にリハビリテーション医学に関する知識を定着させる。

3. Grading Policy

期末筆記試験（100%）で評価を行い、60%以上を取得した者を合格とします。
2/3以上の出席がない学生の評価は行いません。
全体に対するフィードバックとして、第15回授業でまとめと振返りを行います。

4. Textbook and Reference

Textbook
全国柔道整復学校協会　監修　リハビリテーション医学　改訂第3版　南江堂

5. Requirements(Assignments)

予習としてLMSで指定された課題についてまとめてから授業に臨んで下さい。
教科書の指定の部を読み（授業内容の項目およびLMS）、全体の概要をとらえておき、難読と思われる用語については事前に読めるよう調べて下さい。
復習としてLMSで指定された項目についてまとめ、さらに確認問題を解いて下さい。
およそ予習に1時間、課題と問題解答の復習に2時間を見込んでいます。

6. Note

① 座席は教員が指定します。
② 7.授業内容に沿って授業を進めますが、状況により調整を行う場合があります。

7. Schedule

[1] オリエンテーション（国家試験の動向、学習方法について）
[2] 理解度確認問題と解説（脳卒中：前半）
[3] 理解度確認問題と解説（脳卒中：後半）
[4] 理解度確認問題と解説（脊髄損傷：前半）
[5] 理解度確認問題と解説（脊髄損傷：後半）
[6] 理解度確認問題と解説（理学療法、作業療法）
[7] 理解度確認問題と解説（国際障害・生活機能分類、物理療法）
[8] 前半授業のまとめ
[9] 理解度確認問題と解説（補装具）
[10] 理解度確認問題と解説（日常生活動作評価、脳性麻痺）
[11] 理解度確認問題と解説（リハビリテーション関連制度）
[12] 国家試験形式演習問題（必修問題対策）
[13] 国家試験形式演習問題（一般問題対策：前半）
[14] 国家試験形式演習問題（一般問題対策：後半）
[15] 後半授業のまとめ